

Mission of KMUTT Students Visiting JWRI -Promotion of the Student Interchange-

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 菅哲男
接合科学研究所 客員教授

2018年6月11日に、モンクット王トンブリ工科大学(King Mongkut's University of Technology Thonburi, 略称: KMUTT)の学生使節団が接合科学研究所に来訪した。使節団の訪問目的は、「ものづくり」関連の学生の国際交流を推進するための施設見学である。昨年(6月7日)に続いて、2回目の使節団訪問となる。

KMUTTからはAnak 学長補佐、Supakit スタッフ、Nutthanicha スタッフの3名と工学系の学生17名が参加した。阪大関係者として、関名誉教授(元 阪大アセアンセンター長)と内山スタッフ(教育推進部・国際学生交流課)が同行した。当研究所は、田中副所長、川人准教授、堤准教授、菅客員教授、橋本特任講師、大庭事務補佐員が対応した。

田中副所長が、「当研究所の概要」について説明すると共に、「KMUTT との連携状況」を紹

介した。また、レーザ溶接、X線4次元可視化システム、構造性能評価システムの設備見学を行った。学生からは、溶接・接合や留学に関する多くの質問があり、当研究所への関心が認められた。

KMUTT(工学部、溶接工学研究センター)と当研究所とは、2014年6月に国際交流協定を締結している。国際共同研究やワークショップの実施、JSTのさくらサイエンスプランによるKMUTT学生の受入れなどを通して、連携を強化している。本年9月には、日本(ダイヘン)でのカップリング・インターンシップ(CIS)の共同実施も予定している。

今回のKMUTT学生使節団の訪問を契機として、「国際学生交流」や「国際共同研究」などが推進され、両大学間の連携が更に深まることを期待したい。

